

大垣市第2次教育振興基本計画(案)
(抜粋)

令和2年 月

大垣市教育委員会

目 次

第 1 章 大垣市第 2 次教育振興基本計画の策定について

- 第 1 節 策定の趣旨 P. 1
- 第 2 節 計画の位置づけ P. 2

第 2 章 基本理念と基本方針について

- 第 1 節 基本理念 P. 4
- 第 2 節 基本方針 P. 5

第 3 章 分野別振興計画について

- 第 1 節 施策の体系図 P. 6
- 第 2 節 学校教育
- 第 3 節 社会教育
- 第 4 節 文化振興
- 第 5 節 図書館活用 P. 8
- 第 6 節 スポーツ推進

第 4 章 計画の推進体制について

- 第 1 節 計画の推進

第 5 章 資料集

- 第 1 節 計画策定の経過
- 第 2 節 策定委員会設置要綱等・委員名簿

第1章 大垣市第2次教育振興基本計画の策定について

第1節 策定の趣旨

平成18年12月に教育基本法が改正され、新しい時代の教育理念が明示されるとともに、教育基本法第17条第2項の規定に基づいて、地方公共団体には、地域の実情に応じた教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定されました。

本市では、平成22年3月に10年先を見通した教育理念を構築し、すべての市民がふれあい、そして学びあいながら、それぞれが創りあげてきた文化を深めあっている、新たな「文教のまち大垣」をめざして、「大垣市教育振興基本方針」を策定しました。

その中で、「ふるさと大垣科」によるふるさと教育や「小学校からの英語教育」の推進、社会教育推進のための人材養成、「大垣祭の・行事」のユネスコ無形文化遺産をはじめとした文化財の保護・活用による郷土愛の醸成など、成果を上げてきました。

策定から10年が経ち、経済や生活、教育を取り巻く環境は大きく変化してきました。インターネットやスマートフォンなどの普及・発展により、人々の生活スタイルは大きく変わり、グローバル化も進みました。今後はAIやIoTをはじめとする技術革新の一層の進展により、社会や生活を大きく変えていく超スマート社会が到来すると予測されています。

こうした中、本市においては、現在の「大垣市教育振興基本方針」を改訂し、これからの10年を見据えた「大垣市第2次教育振興基本計画」を策定します。

時代が変化しても、「夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人」の育成など、普遍的な教育の姿を大切にしながら、「多様性の受容」など時代の変化に合わせた教育も推進していきます。

いつの時代も、地域社会が発展するキーワードは「人づくり」です。学校教育や社会教育等を充実し、次代を拓くことができる人づくりをめざしていきます。

第2節 計画の位置づけ

1 計画の位置づけ

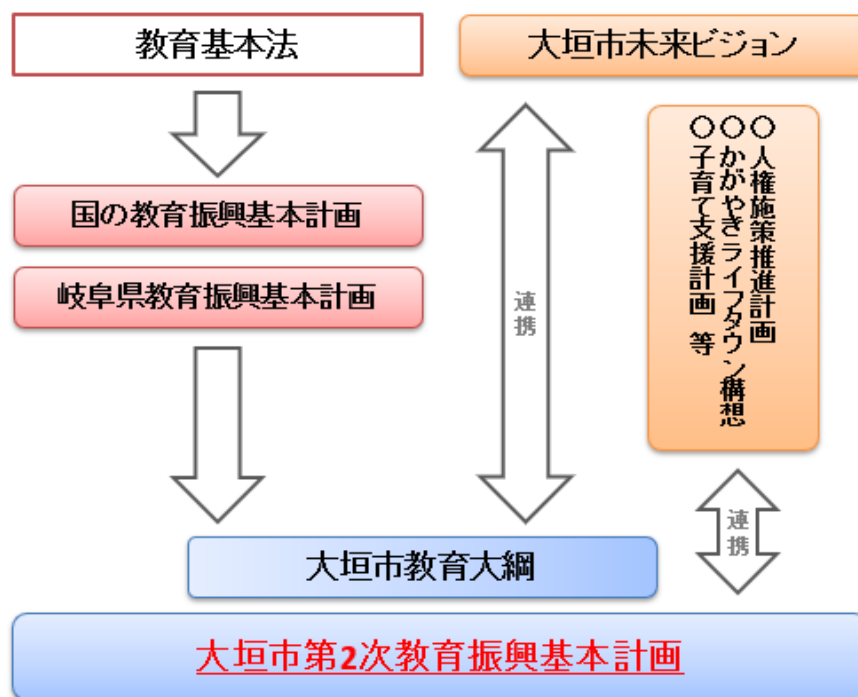
- 教育基本法第17条第2項の規定に基づく、「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」です。
- 「大垣市未来ビジョン」を上位計画とする教育分野の総合的な計画とし、より具体的な目標などを示します。
- 「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた取り組み等を勘案して策定しています。



用語の説明

持続可能な開発目標：2030年（令和12年）を年限とする国際社会全体で取り組む目標であり、2015年（平成27年）の国連サミットで採択された。SDGsでは、誰一人として取り残さない社会の実現を目指し、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」など、17のゴール（目標）が設置されている。

2 イメージ図



3 計画の期間

大垣市第2次教育振興基本計画の基本理念・基本方針の計画期間は、令和2年から10年間です。

分野別の基本目標・基本施策の計画期間は、令和2年から5年間です。

いずれにおいても、教育環境や社会情勢の変化等により、計画期間内に見直しが必要となった場合はこの限りではありません。

計画名	平成				令和						
	27	28	29	30	1	2	3			10	11
総合計画	大垣市第五次総合計画				大垣市未来ビジョン(30年)						
教育方針	大垣市教育振興基本方針(10年)				大垣市第2次教育振興基本計画 基本理念・基本方針(10年)						
教育振興計画	第2次振興計画(5年)				目標・施策(5年)			目標・施策(5年)			

第2章 基本理念と基本方針について

第1節 基本理念

総合教育会議において市長と教育委員が協議し、平成30年11月に「大垣市教育大綱」（以下「大綱」という）が策定されました。

基本理念・基本方針については、今回は、昨年度定めた「大綱」の基本理念・基本方針を準用することとします。

なお、将来、計画を見直しする場合には、必ずしも「大綱」の基本理念・基本方針を準用するものではありません。

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

～次代を拓く「人」づくり～

人口減少と少子高齢化の進展に伴い、将来の労働人口の減少が見込まれる中、地域社会がこれからも発展するためのキーワードは「人」づくりです。

みんなが学び、地域やコミュニティで交わり、互いに成長する文教のまち大垣は、次代を拓く人づくりをめざします。

<教育大綱とは>

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定により、地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされています。

<教育振興基本計画とは>

「教育基本法」第17条第2項の規定により、地方公共団体は、前項の計画（国の教育振興基本計画）を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされています。

第2節 基本方針

I 夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人

夢や目標を実現するために学び挑戦し、着実に夢に近づくことができる力や創造力を育成することで、自ら未来を切り拓くことができる人づくりをめざします。

II 多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、心豊かな人

多様性を尊重し、思いやることができる自律した心と、自らも大切な存在であるという認識をもち、グローバル社会をたくましく生きる、心豊かな人づくりをめざします。

III 歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にした、 郷土愛のある人

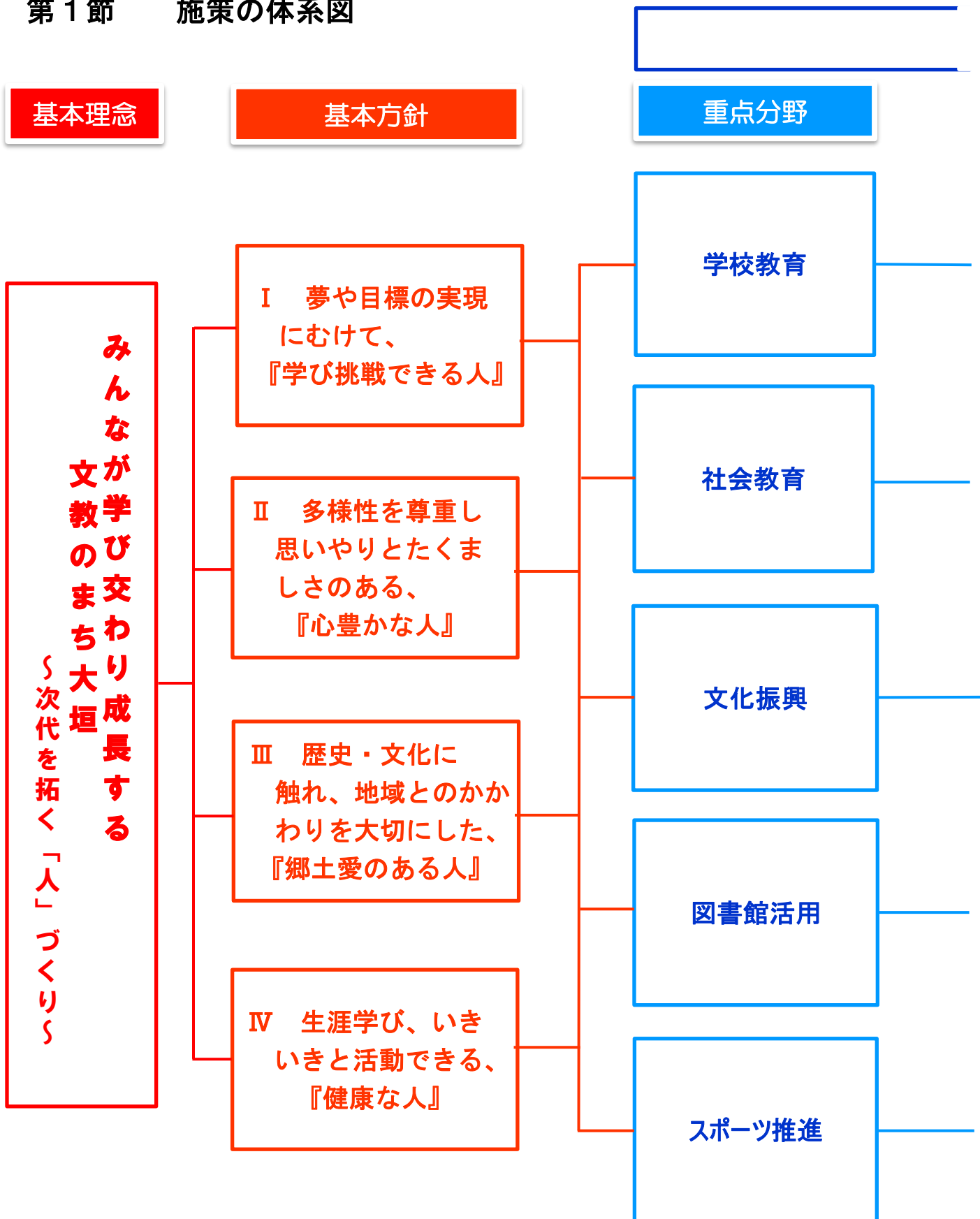
自分のまちの歴史・文化を理解することや、地域社会とのかかわりを深めることで、大垣の良さの再発見や更なる愛着と誇りをもち、「ふるさと大垣」への郷土愛のある人づくりをめざします。

IV 生涯学び、いきいきと活動できる、健康な人

「人生100年時代」を豊かに過ごすために、誰もが生きがいをもっていきいきと生涯学び活動できる、心身ともに健康な人づくりをめざします。

第3章 分野別振興計画について

第1節 施策の体系図



分野別振興計画

基本目標

- 1 主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
- 2 多様な人々との協働を促し、思いやりの心もち、共に支え合う子どもを育成します
- 3 グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
- 4 豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

- 1 地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします
- 2 よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします
- 3 地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします
- 4 興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします

- 1 文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします
- 2 文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
- 3 郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします
- 4 文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします

- 1 読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
- 2 図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします
- 3 郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
- 4 魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

- 1 スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします
- 2 スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします
- 3 地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
- 4 スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします

第5節 図書館活用

近頃の読書活動を取り巻く状況として、情報通信技術（ICT）の進展に伴い、いわゆる「活字離れ」が起きており、積極的に読書する人の減少が深刻化しています。その一方で、図書館は「知の拠点」として、今や人生100年ともいわれる長寿社会への変化に対応した学習機会の提供や、地域コミュニティの維持・活性化への貢献といった役割が求められています。

図書館では、こうした読書活動の状況を踏まえ、多様化するライフスタイルや高度化する市民ニーズに柔軟に対応しつつ、生涯にわたりいきいきとかがやく人たちを支援します。

1 基本目標と基本施策

基本目標 1	読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
---------------	---

近年、「活字離れ」が指摘されている中、読書活動は、言葉を学び、知性や感性を磨き、チャレンジ精神を高め、自己解決力を鍛える手段として非常に有用です。

あらゆる機会と場所において、すべての人々が自主的な読書活動に取り組める環境を整備するとともに、特に次世代を担う子どもが読書活動を通じて夢や希望を思い描き、成長していく力を育むことを支援します。

基本施策

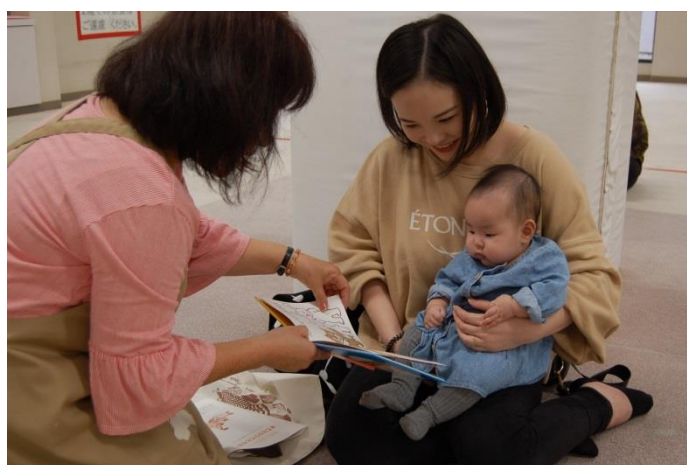
取組	内容
(1) 図書館における読書活動の推進	<p>読書の魅力に触れたり、身近なものと感じられたりするような読書活動の機会を提供するため、読書講演会などを開催するほか、積極的な図書紹介や図書展示を行います。</p> <p>また、子どもが「読みたい」「見たい」「知りたい」と思ったとき、多くの本と出会えるように、図書館において定期的に読み聞かせ会や図書展示などを実施します。</p>

取組	内容
(2) 子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援	<p>子どもが、本に親しみ、言葉を学び、表現する力や人生をより豊かに生きる力を養うため、児童書を充実させ、さらに自主的な読書につながるように、地域や学校・園に児童図書を整備・充実します。</p> <p>また、家庭において読書の楽しさを家族で共有し、読書活動に親しむために「ブックスタート事業」(※)を継続し、読書案内や図書展示を充実します。</p> <p>さらに、図書館職員が学校教諭・学校司書・保育士と連携・情報交換を行うほか、図書館見学や職場体験、留守家庭児童教室への図書の貸出しなどを継続します。</p>
(3) 地域における読書活動の推進	<p>お住まいの地域でも気軽に本が読めるように、地区センターなどの「地域文庫 (28 か所)」(※)を拡充するとともに、文庫内での図書展示や読み聞かせ会の開催を推進します。</p>

用語の説明

ブックスタート事業：保健センターで行われる 4 か月健康診査を受診する乳児と保護者を対象に、指導者による読み聞かせ指導を行うとともに絵本をプレゼントする事業。

地域文庫：図書館が所蔵する本を地区センターなどの公共施設に配置し、来館する市民が自由に読むことができる場所。



ブックスタート事業

基本目標 2	図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします
---------------	--

近年の社会情勢に比例するように、図書館に寄せられる利用者の声も多様化しています。図書館は、市民に求められている多様性の受容、グローバル化する社会への対応に役立てるよう、「いつでも」「どこでも」「だれでも」図書館にアクセスできる環境を整備し、さまざまなサービスを提供します。

図書館サービスを通して、多文化を理解し、他者を思いやることができるような心豊かな人々が増えるきっかけを提供します。

基本施策

取 組	内 容
(1) 多様なサービスの推進	<p>図書館職員による資料相談を充実させ、ICTを活用した効率的な貸出しサービスを提供するとともに、図書の予約サービスや他の図書館からの相互貸借(※)などにより迅速かつ確実な資料提供を行います。</p> <p>また、日々の暮らしの中で生まれる様々な疑問や問題を解決するための豊富な資料を揃える情報拠点をめざすとともに、障がい者や多様な言語をもつ外国人などそれぞれの方に対応したきめ細かなサービスの提供に努めます。</p>
(2) 積極的な情報発信	<p>多くの人に図書館を活用していただくため、図書館発行の広報紙や新刊案内などを、市内公共施設に配布するとともに、市の各所属と連携し、各種講座やイベントなどのPR活動を積極的に双方で実施します。</p> <p>また、図書館ホームページなどの多様なメディアを活用し、図書館における様々な情報の提供と、図書の検索支援を行います。</p>
(3) デジタル資料・情報の充実	<p>デジタル資料と親和性が高いインターネットを活用して、新聞やレファレンス(※)のデータベース閲覧サービスや電子書籍(※)の充実に努めます。</p>

用語の説明

相互貸借 : 図書館同士が所有している本を貸し借りすること。

レファレンス : 図書館の資料やデータベースなどを使って、調べものや、資料・情報探しの補助をすること。

電子書籍 : インターネット上で流通する電磁的に記録された読み物のこと。

取組	内容
(4) サービス拠点の充実	<p>遠方のため図書館への来館が困難な市民であっても、読書に親しみ、楽しむ環境を享受できるように予約図書の配本所（19か所）を拡充します。</p> <p>また、図書館利用者の利便性を高め、図書の貸出し回転率を上げるため、集客施設の近くなどにサービス拠点を設けます。</p>



図書館 貸出の様子



スマートフォンによる図書の貸出

基本目標3	郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
--------------	-------------------------------------

「文教のまち大垣」には、先人たちが残した地域の歴史や文化が数多く残されています。市民が、郷土の歴史や文化を知り、ふるさとへの愛着を深め、未来へ継承できるよう資料の収集整理に努め、学習研究等への情報提供を積極的に行います。

基本施策

取 組	内 容
(1) 郷土資料の収集・整備	郷土に関する映像や電子データなどを含む、あらゆる形態の資料・情報を積極的に収集し、広く活用できるよう体系的に整理し目録化します。 また、資料のデジタル化を図り、保存・活用できるよう整備します。
(2) 郷土資料の公開・活用	多くの人が利活用できるように、デジタル化した古文書・古地図・古写真などの郷土の歴史資料を図書館ホームページ内のデジタルライブラリーなどで公開します。 また、図書館のみならず多くの場所において、資料を展示・公開することで、多くの人々が郷土の歴史や文化に触れる機会を増やしていきます。
(3) 郷土を学ぶ機会の提供	従来の歴史講座・古文書講座を継承するとともに、市内小中学校が実施する「ふるさと学習」、地区センターにおける出前講座などで、郷土の歴史資料を積極的に活用します。

基本目標 4

魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々が利用されており、その目的も「知識を得るため」「教養を深めるため」「調査研究のため」など広範にわたっています。

利用者一人ひとりのニーズにきめ細かに応えることができるように、また、生きがいを求め生涯学習する人を応援するため、今後もさまざまな分野の豊富な資料の所蔵を継続するとともに、新たな資料の収集や充実に努めます。

基本施策

取組	内容
(1) 魅力ある資料の収集・充実	<p>広く市民に読まれている文学作品をはじめ、生き方や、趣味、健康、食べ物など日々の暮らしに関する情報や、ビジネスに役立つ情報など、幅広い分野の資料収集と充実に努めます。</p> <p>また、国際理解や多文化共生、障がい者への理解を深める資料収集に努めるとともに、あらゆる人々が生涯学びたい意欲にこたえることのできるよう資料の充実を図ります。</p>
(2) レファレンスサービスの充実	<p>レファレンスサービスについて広く市民に紹介するとともに、多くの質問を積極的に受け付け、専門的かつ高度なレファレンスに努めます。</p> <p>また、レファレンス事例を記録・蓄積し、レファレンスデータベースとして公開することにより、市民の利便性を高めます。</p>

取 組	内 容
(3) 市民と共に 行う図書館運営	<p>子どもへの絵本の読み聞かせ、視覚障がい者への対面朗読、書架整理、図書修繕など、市民が積極的に図書館の運営に参加できるように活動の機会を提供します。</p> <p>また、図書館運営に関して、「図書館利用者アンケート」などを通して利用状況の把握に努めるほか、「大垣市図書館協議会」では、図書館運営に関して、各分野で活動する委員から意見を聴取し、図書館サービスへ反映します。</p>
(4) 施設・設備の 整備	<p>図書館のサービスや行事を効果的にPRするため、情報通信技術の導入などを検討するとともに、誰もが気軽に立ち寄ることのできる「憩いの空間」づくりに努めます。</p> <p>また、資料を介して利用者同士が交流し、情報を共有することで、知識が広がり、まちづくりにつながるなど、地域コミュニティ形成の場をめざします。</p>



レファレンスサービス

2 指標と目標値

図書館活用分野の施策の着実な推進を確認するため、指標と目標値を設定します。

No.	基本目標	指標名	基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
1	読書活動を推進し、 夢に向かって挑戦し 努力する人づくりをめ ざします	貸出し冊数	636,749 冊	709,500 冊
		児童書の貸出し冊数	246,125 冊	251,000 冊
2	図書館サービスを充実 し、多様化する社会を 心豊かに生きる人づく りをめざします	図書館ホームページアクセス 件数	203,000 件	209,000 件
		外国人利用登録者数	1,037 人	1,200 人
		予約図書の配本冊数	20,518 冊	23,000 冊
3	郷土資料の活用を推進 し、郷土愛のある人づ くりをめざします	ふるさと歴史講座参加者数	1,065 人	1,110 人
		郷土資料デジタルライブ ラリー閲覧件数	1,300 件	1,840 件
4	魅力ある資料や情報を 提供し、かがやき続け る人づくりをめざし ます	図書館利用目的達成度	90.7 %	94.0 %
		生活関連資料の貸出し冊数	173,209 冊	195,300 冊

(注) この計画の目標値は、過去の実績の平均や最大値などを基準とし、人口減少を加味して算出するなどしています。

みんなで築こう人権の世紀
～考えよう相手の気持ち
未来へつなげよう違いを認め合う心～

大垣市第2次教育振興基本計画

令和2年 月

発行 大垣市教育委員会
編集 教育委員会事務局 庶務課
大垣市丸の内2丁目29番地
電話 (0584)47-8022
